

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券等－該当なし
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－取得価額によっている
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - ・製品及び仕掛品－売価原価法に基づく原価法
 - ・商品、原材料及び貯蔵品－最終仕入原価法に基づく原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ・有形固定資産－一定額法
 - ・無形固定資産－一定額法
 - ・リース資産
 - 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
該当なし
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
 - ・長期前払費用－一定額法
- (4) 引当金の計上基準
 - ・徴収不能引当金－該当なし
 - ・賞与引当金－職員に対する賞与の支給に備えるため、支給の見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ・退職給付引当金－職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度、静岡県社会福祉事業共済会及び確定拠出年金制度によっている。

また、平成18年4月1日以降に高齢者部門（一部を除く）に採用された職員については、上記の退職給付制度に加入せず、別に法人の退職金規程に基づいた退職給付を行っている。

加えて、法人本部では、定款に定める役員に対し役員規則に基づいて退職慰労給付を行っている。

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）
- (2) 事業区分別内訳表（第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式）
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
- (4) 公益事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）は省略している。
- (5) 収益事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

財務諸表に対する注記

(6)各拠点区分におけるサービス区分の内容

- ア 法人本部拠点(社会福祉事業)
 - 「法人本部」
- イ やまぼと希望寮拠点(社会福祉事業)
 - 「やまぼと希望寮生活介護」
 - 「やまぼと希望寮施設入所支援」
 - 「やまぼと希望寮ショートステイ」
 - 「やまぼと希望寮日中一時支援」
 - 「ケアセンターさざんか」
 - 「ケアホームわかば」
 - 「生活支援センターやまぼと」
- ウ 垂徳寮拠点(社会福祉事業)
 - 「垂徳寮生活介護」
 - 「垂徳寮施設入所支援」
 - 「垂徳寮ショートステイ」
 - 「垂徳寮日中一時支援」
 - 「ケアセンター野ばら」
 - 「ケアホームみぎわ」
 - 「青葉の家」
- エ 聖ルカホーム拠点(社会福祉事業)
 - 「聖ルカホーム」
 - 「聖ルカショートステイ」
 - 「ライフサポートさふらん」
 - 「牧之原市地域包括支援センターオリーブ」
 - 「コミュニティセンターぶどうの木」
- オ グレイス拠点(社会福祉事業)
 - 「グレイス」
 - 「グレイスショートステイ」
 - 「デイサービスセンターすずらん」
 - 「居宅介護支援事業所シャローム」
- カ 相寿園拠点(社会福祉事業)
 - 「相寿園」
- キ かたくりの花拠点(社会福祉事業)
 - 「ケアセンターかたくりの花」
- ク カサブランカ拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンターカサブランカ」
- ケ コスモス拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンターコスモス」
- コ なのはな拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンターなのはな」
- サ 希望の家拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンター希望の家」
- シ ワークセンターやまぼと拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンターやまぼと」
- ス あつまリーナ拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンターさくら」
 - 「ケアセンターマーガレット」
 - 「就労移行支援センターレインボー」
 - 「レタスクラブ」
 - 「まつぼっくり」
- セ あさがお拠点(社会福祉事業)
 - 「ワークセンターあさがお」
- ソ 真菜拠点(社会福祉事業)
 - 「デイサービスセンター真菜」
- タ ぎんもくせい拠点(社会福祉事業)
 - 「島田市立養護老人ホームぎんもくせい」
- チ やまぼと診療所拠点(公益事業)
 - 「やまぼと診療所」

財務諸表に対する注記

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地(基本財産)	318,262,292			318,262,292
建物(基本財産)	2,390,823,020	7,474,600	168,988,257	2,229,309,363
合計	2,709,085,312	7,474,600	168,988,257	2,547,571,655

7. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地(基本財産)	64,910,200 円
建物(基本財産)	122,303,020 円
計	187,213,220 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額含む)	8,600,000 円
計	8,600,000 円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累 計額	当期末残高
土地(基本財産)	318,262,292		318,262,292
建物(基本財産)	3,831,962,692	1,602,653,329	2,229,309,363
土地	17,375,805		17,375,805
建物	129,374,770	85,011,997	44,362,773
構築物	193,787,482	82,925,948	110,861,534
車輛運搬具	68,516,802	47,525,786	20,991,016
器具及び備品	195,764,895	132,554,906	63,209,989
建設仮勘定	13,554,000		13,554,000
有形リース資産	34,446,720	8,795,080	25,651,640
ソフトウェア	15,407,805	9,702,975	5,704,830
無形リース資産	5,273,520	1,795,164	3,478,356
合計	4,823,726,783	1,970,965,185	2,852,761,598

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

該当なし

(単位:円)

	債権額	徴収不能引 当金の当期 末残高	債権の当期 末残高
合計			

財務諸表に対する注記

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位:円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の 兼務等	事業上 の 関係				
役員及び近親者	長澤道子			当法人の理事			設備資金の借入	設備資金の借入	3,000,000	設備資金借入金	1,200,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

1. 設備資金の借入は、償還期間10年、金利は無利息とする。また、担保の提供はしていません。

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし